



## Challenge to the dreams ~未来に青空が広がるように~ 令和2年度「東海村立志式」をオンラインで開催

2月4日、東海中と東海南中、役場の3会場をオンラインでつなぎ、令和2年度「東海村立志式」が開催されました。式典では両中学校の2年生による「私たちのメッセージ」が体育館のスクリーンに映し出されお互いに視聴し合ったほか、役場からは中山まさとも・つかささん(漫才師)が、夢をかなえる方法について漫談を交え講演を行いました。「周囲の方に感謝し、夢に向かってどんな困難にも負けず、一步一步進んでいきたい」という中学2年生の皆さんに、心からのエールを送ります。



## 多年にわたり正確な統計の作成に貢献 令和2年度「総務大臣表彰」「茨城県統計調査功労知事表彰」

2月10日、「総務大臣表彰」と「茨城県統計調査功労知事表彰」を受賞した大竹圭子さん(豊白)が、村長へ報告に訪れました。大竹さんは統計調査員として多年にわたり統計調査へ従事し、正確な統計の作成に貢献したことが評価され、今回の受賞に至りました。「プライバシー意識の高まりから不審に思われづらいこともあります。元々動き回ることが好きなので、やりがいを感じます」と話す大竹さんに、村長から「これからも健康に気を付け長く続けてください」との言葉がおくられました。

【写真】東海村らしさがいっぱい  
のポスターは、東海地区交番  
(JR東海駅西口)に掲示されて  
います



## 常に防犯・交通安全の意識を! 「地域防犯・交通安全ポスター」を東海地区交番に掲示

2月1日、東海中・東海南中の総合文化部の皆さんが作製した「地域防犯・交通安全ポスター」が、東海地区交番に掲示されました。これは、村民の皆さんに交番を身近に感じてもらい、防犯・交通安全意識を高めてもらおうと、東海地区交番から両中学校に依頼されたもの。掲示を前に、所長の大高徹さんは「中学生の皆さんに大変感謝しています。今後も村の安全安心に貢献していきます」と話しました。両中学校には同日、ひたちなか警察署地域課長から感謝状が贈られました。

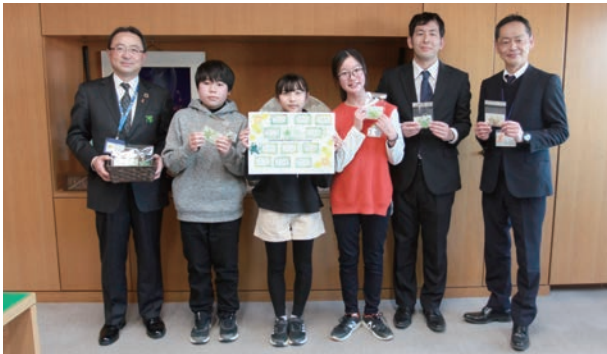
【写真左から】川崎敏秀さん(東海村環境整備事業協会会長)、  
勝山起一さん(同副会長)



## 確定申告はスマホやパソコンでご自宅から! ごみ収集車でオンライン申告をPR

2月5日、東海村環境整備事業協会へ、太田税務署から村を通して、オンラインでの確定申告をPRするステッカーが贈られました。これは、太田税務署と村がスマートフォンやパソコンによる確定申告を呼び掛けていることに対し、同協会が協力を申し出たもの。会長の川崎さんは「村内を走るごみ収集車にステッカーを貼ることで、村民の皆さんに広く、オンラインでの申告を呼び掛けたい」と話しました。今年の確定申告はぜひ、オンラインで申告してみませんか。

【写真左から】伴教育長、岩間煌大さん、安藤真央さん、田中いろはさん、豊田一暁教諭、平間克司校長



## 感染症による差別や偏見をなくそう 「シトラスリボンプロジェクト」に貢献

2月3日、石神小学校運営委員の6年生3人が「シトラスリボン」を贈呈するため、教育長を訪問しました。シトラスリボンとは、新型コロナによる偏見や差別をなくす意思表示として身に着けるリボンのこと。「感染者や医療従事者に対する偏見や差別をなくしたい」という思いから、全校児童で作成しました。伴教育長は、「リボンを身に着けることで、石神小の皆さんの思いを広めていきたい」と話しました。また、村松小学校でもこの取り組みが行われており、村議会議員にリボンを贈呈しました。

【写真】(左)食物アレルギーに対応した給食と、(下)おいしそうに食べる子どもたち(白方小学校)



## みんながおいしく食べられる学校給食を 「より多くの人食べられる共通献立の日」

2月18日、村内の小中学校で、食物アレルギーに対する普及啓発活動と理解促進を図る「より多くの人食べられる共通献立の日」が実施されました。この日の給食では、食物アレルギーの原因となる主な食品を除いた「ゴロっとチキンカレーライス」「根菜サラダ」「いちごゼリー」が提供されました。給食の時間を通じて食物アレルギーへの理解を深めた子どもたちからは「みんなでおいしく食べられるとうれしいね」という声が聞かれました。

## 「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



皆さんは自分が子どもだった頃、どんなことを感じ、思い、考えて過ごしていたかを覚えていますか。私は、先生や友達と探検をしながら、たくさん発見をして活発に遊んでいた楽しい思い出がよみがえります。この記憶がきっかけで幼稚園教諭という道を選びました。子どもたちの世界は常に冒険と探検の毎日です。目が輝くほどにさまざまな発見や気づきがある日々の中で、たくさん事に挑戦し、成長しています。子どもたちが見ている世界は、きつとキラキラしていて色鮮やかなことでしょう。

私は今、年長組の担任をしています。生まれてからまだ5、6年しか経っていない幼い子どもたちの頑張り姿は、言葉では伝えきれないほど感動します。子どもたちが日々挑戦している姿から、「私も頑張ろう!」と元気をもらいます。幼稚園は子どもたちの成長の場だと思っていました。が、実際に働いてみると、自分自身も多くの面で成長させてもらっていると感謝しています。

これから子どもたちには、幼稚園での出会いや経験を通して、心にまいた種の芽に「優しさ」「思いやり」「笑顔」という栄養をたくさんあたえ、きれいな花を咲かせてほしいと思います。私自身、今後も出会った縁を大切に、心にまいた種の芽を、子どもたちと一緒に育てていきたいと考えています。

「子どもたちが見ている世界はどんな世界なんだろう」と思いませんか。私は子どもたちに寄り添い、つばやきを拾い、気持ちを共有し、共に過ごすことで子どもたちが見ている世界に近づくことができるのではないかと考えています。幼児教育に興味のある皆さん、一緒にたくさん感動を味わってみませんか。

舟石川幼稚園

菅原杏梨教諭